

施策実施状況の評価(平成25年度)

交差点改良 の推進	実施状況の 検証	指標	交差点改良箇所数
		実施状況	1箇所(相原台交差点右折レーン設置)
	モニタリング 指標の変化	指標	改良箇所を含む路線の混雑時所要時間
		基準値	54分(三ヶ木～橋本駅北口間実測値)
		実績値	50分(交通事業者データ) (H25.9.13の7～8時の間の平均所要時間) H24の同条件での平均所要時間は52分
	評価(案)	渋滞状況や天候等の条件により、運行所要時間の違いは生じる可能性があるものの、所要時間が短縮し、速達性の向上が図られたことを踏まえ、定時性の向上に向けた取り組みを期待する。	

ターミナル等での乗り継ぎの円滑化	実施状況の検証	指標	施設の新設・改良箇所数
		実施状況	新設：田名バスターミナル 改良：橋本駅南口駅前広場(供用開始)
	モニタリング指標の変化	指標	運行情報提供設備導入率(設置候補箇所数に対する導入箇所の割合)
		基準値	0%
		実績値	7.1%(バスターミナル及びサブターミナル14箇所中、田名バスターミナルに1箇所設置)
	評価(案)	乗継に伴うバス利用者の負担感の軽減を図るためにも、各ターミナル等にも早期に導入するよう整備計画を策定し、あわせて、導入後の検証についても取り組む必要がある。	

田名バスターミナルの整備経過

H18.11月



H22.6月



H26.3月





田名バスターミナル 乗降バス等の配置図

Kanachu 神奈川中央交通 **田名バスターミナル総合案内** 日 7月2日 (水) 9:12

乗場	時刻	系統	行き先	経由地	乗点	経由地	発着予測	通過	始発
1	9:40	当02	北里大学病院・北里大学	原当麻駅	10:08	9:59	9:40	バス	相模原駅に到着して運行
	10:25	当02	北里大学病院・北里大学	原当麻駅	10:53	10:44	10:25	バス	相模原駅に到着して運行
2	9:25	相17	水郷田名	ふたあい科学館前	9:33	9:28	9:25	バス	相模原駅に到着して運行
	9:52	田01	手原	真輪辻	10:20	9:59	9:52	バス	相模原駅に到着して運行
4	9:30	湖53	淵野辺駅南口	上溝	10:01	9:44	9:30	バス	相模原駅に到着して運行
	10:00	湖53	淵野辺駅南口	上溝	10:31	10:14	10:00	バス	相模原駅に到着して運行
5	9:20	橋57	橋本駅南口	橋戸	9:46	9:30	9:20	バス	相模原駅に到着して運行
	9:40	橋57	橋本駅南口	橋戸	10:06	9:50	9:40	バス	相模原駅に到着して運行
6	9:30	相17	相模原駅南口	田名バスターミナル	9:53	0:	9:30	バス	相模原駅に到着して運行
	9:50	相17	相模原駅南口	田名バスターミナル	10:13	0:	9:50	バス	相模原駅に到着して運行

表示文字は、発着予測時刻の5分前になると黄色に変わります。

お知らせ | 現在、発車後に平均2分の遅れが出ております。



田名バスターミナル バス運行情報案内表示機



バスロケーションシステムの機能向上	実施状況の検証	指標	システムの改善有無
		実施状況	有(H25.3.25からリニューアル)
	モニタリング指標の変化	指標	バスロケーションシステムへのアクセス数
		基準値	2,921件/日(平成21年実績)
		実績値	11,911件/日(平成25年実績) (6,909件/日(平成24年実績))
	評価(案)	サーバの増強により繋がりにくさの解消やスマートフォンサイトの開設など、システムのリニューアルによりアクセス数が増加し、バス待ち環境の快適性の向上が図られた。	

ターミナル 施設の整備	実施状況の 検証	指標	施設の新設・改良箇所数
		実施状況	新設：田名バスターミナル 改良：橋本駅南口駅前広場
	モニタリング 指標の変化	指標	バスターミナル施設利用者
		基準値	71,500人(ターミナルに位置付けられている10箇所の乗降者数)
		実績値	60,401人(H24.4.19) 62,690人(H25.4.18) 現金とICの利用者数
	評価(案)	<p>昨年同時期と比較して利用者は増えているため、施設整備の効果があったと評価する。今後も、拠点施設の機能向上を図り、バス待ち環境の安全性・快適性の向上に取り組むことを期待する。</p>	

ICカード乗車券の普及・利用促進	実施状況の検証	指標	普及に向けた取組実施回数
		実施状況	有
	モニタリング指標の変化	指標	現金支払い者とICカード乗車券利用者の比率
		基準値	71.18%
		実績値	76.93% (H24年度:74.83%)
	評価(案)	ICカードの普及率は上昇していることから評価できる。今後はICカードの普及促進策の充実を図り、さらなる普及率の向上に取り組むことを期待する。	

中乗り前降り方式の導入	実施状況の 検証	指標	中乗り前降り方式導入路線数
		実施状況	有
	モニタリング 指標の変化	指標	導入路線の混雑時所要時間
		基準値	導入時に調査 45分(相25系統) H25.6の平日の1日(晴れ)平均所要時間
		実績値	43分(相25系統) H26.6の平日の1日(晴れ)平均所要時間
	評価(案)	調査時の道路の渋滞状況やバス利用者の乗降人数などにより、変動要素はあるものの、速達性の向上により、乗降等の円滑化が図られた。	

啓発講座等の実施	実施状況の 検証	指標	啓発活動実施回数
		実施状況	12回(小学校8回・高齢者向け4回)
	モニタリング 指標の変化	指標	利用方法、運行意義の理解度
		基準値	アンケートの実施
		実績値	H25.11.6に大野北地区において開催された交通安全ゲートボール大会の休憩時間等を利用して乗り方教室(参加者76名)を実施
	評価(案)	アンケートの回答76人(回答率100%)の内、今回の乗り方教室が「とても役立つ」が36.8%、「役立つ」が55.3%と9割が役立つと回答しており、バス利用の促進に向け成果をあげられたと評価するとともに、今後も継続的に啓発活動に取り組む必要がある。	

ノンステップバスの導入	実施状況の 検証	指標	ノンステップバスの導入台数
		実施状況	1台
	モニタリング 指標の変化	指標	対象路線でのノンステップバス運行比率 (対象路線：大54、大53、相25、相05、相02、相31、相21の7系統)
		基準値	21.23%
		実績値	21.04% (平成24年度は20.24%)
	評価(案)	平成24年度実績より0.8%上回ったものの、基準値より下回った結果を踏まえ、市の支援と交通事業者の連携により、導入率の向上に向けた努力が必要である。	

マイカーからの 転換促進	実施状況の 検証	指標	TDMの実施の有無
		実施状況	有
	モニタリング 指標の変化	指標	マイカーからの転換率 (MMの実施により車利用を控えよ うと思う人の割合)
		基準値	実施時に調査
		実績値	33% (H25大野北地区住民MM) (配布4,611、回収1,024、回収率 22.2%)
	評価(案)	過去に実施した地区(下九沢・西橋本地区51%、 城山地区46%)と比較すると、車利用を控えよ うと思う人の割合が低いことから、マイカーから公 共交通への転換を促進する取り組みが必要で ある。	